

委員会審査

総務常任委員会

質疑 令和5年度の移住支援金事業の実績、地域別の内訳は。

答弁 令和5年度は4年度と比べて単身・世帯共に9件ずつ増加し、単身40件、世帯58件の計98件で、移住支援金事業を実施している全国の自治体の中で最大の件数となった。

地域別の内訳は、高崎地域が82件で全体の84%を占めており、吉井地域が6件、群馬地域が5件、新町地域が3件、箕郷・榛名地域がそれぞれ1件であった。

市民経済常任委員会

質疑 高崎の食発信事業の実績と効果は。

答弁 令和5年度は市内の各種イベントへの参加のほか、横浜赤レンガ倉庫での全国ふるさとフェアや、JR御徒町駅前の広場での単独イベントに出展した。さらに、ラ・フェスタ・カラスガワを初開催するなど、本市の魅力や特色を積極的にPRすることで、高崎の食のブランドが推進された。



ラ・フェスタ・カラスガワ

子育て支援・定住人口増加対策特別委員会

質疑 令和5年度の児童虐待の通告件数は。

答弁 本市が対応した児童虐待の通告件数は419件であったが、このほかにも県が対応した高崎市分は約400件と伺っている。今後、本市に児童相談所が開設されると、県の対応した分も合わせた約800件分の対応が想定される。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 令和5年度の労使会館建設事業の建設等工事および解体工事の内容は。

答弁 令和5年7月から6年1月にかけて既存施設の解体工事を行い、続けて建設工事に着手した。建設工事は債務負担行為により2カ年で進めている。

各常任委員会および各特別委員会において、付託された議案などを審査しました。

質疑・答弁の一部を掲載します。

教育福祉常任委員会

質疑 送迎用バス安全装置設置支援事業費補助金の実績は。

答弁 放課後等デイサービスなどの送迎用車両において、子どもが置き去りになる事故を防ぐための安全装置の設置費用の補助を行い、令和5年度は59事業所、124台の車両に対し補助を行った。

質疑 体育館空調設備設置工事の実績は。

答弁 令和5年度は、部活動で体育館の利用頻度が高く、災害時に避難者が多かった並檜中、大類中、八幡中の3校に空調設備を設置した。

建設水道常任委員会

質疑 高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業と群馬中央第二土地区画整理事業の進捗状況は。

答弁 高崎操車場跡地周辺土地区画整理事業の令和5年度末の進捗率は69.7%で、5年度の主な事業として13件の道路築造工事、8件の物件移転補償等を行った。

また、群馬中央第二土地区画整理事業の令和5年度末の進捗率は61.7%で、5年度の主な事業として14件の道路築造工事、5件の物件移転補償等を行った。

環境施設建設特別委員会

質疑 新高浜クリーンセンターの最終的な財源の内訳は。

答弁 事業費約400億円のうち、循環型社会形成推進交付金が約30%で115億円、起債および基金が約65%で265億円、一般財源が約5%で20億円である。

都市集客施設整備特別委員会の設置目的を変更しました。

■変更後の設置目的

高崎市都市集客施設基本計画に基づく再開発ビルの整備、労使会館の建設及び高崎スマートインターチェンジ産業団地A・B地区の整備について調査研究する。



●12条点検

建築基準法第12条で定められた定期点検。一定の用途・規模を満たす公共建築物について、建築物、建築設備及び防火設備の損傷・腐食・劣化等の定期点検が義務付けられている。

質問 農福連携事業である倉測就労継続支援施設の概要は。
答弁 くらぶちメロン村は利用定員20人の就労継続支援B型サービス事業所で、障害者支援、農業分野それぞれの専門職員が支援に当たる。また、冬季の加温には地域の間伐材を燃料とする木質バイオマスボイラーを導入し、山林整備にも寄与する施設である。

質問 森林環境譲与税の利用目的と活用例は。
答弁 森林環境譲与税は、森林整備およびその促進に関する費用に充てることを目的としており、国民1人当たり年額千円の森林環境税が課税されている。本市では、森林経営管理制度を活用した森林整備や、倉測就労継続支援施設のボイラー導入経費の一部に、また、観音山・自然歩道整備事業や牛伏山を花で囲むプロジェクトなどの森林環境をPRできる事業に活用している。

障害者就労支援事業所(倉測メロン村) 本市の森林環境譲与税

長壁 真樹 (新風会)

質問 町内会の回覧板をデジタル化する電子回覧板について、本市の認識と評価は。
答弁 電子回覧板は、スマートフォンやタブレットなどで伝えたい情報を一斉に発信でき、過去の情報を見返すことができるなど、情報共有の即時性や利便性の面で有効な手段である。一方、専用のアプリの使用料の捻出や管理運用を担う人材の確保、操作に不安のある住民への対応などの課題もあると認識している。

質問 マイナ保険証を利用した際のメリットは。
答弁 医療機関において、患者の同意に基づき、過去の特定健診や薬剤などの情報を共有できるため、より適切な医療や薬の処方が可能となる。また、高額医療費制度の限度額を超える支払いの免除を受ける場合、これまで必要だった認定証の提示が不要となるなどのメリットがある。

マイナ保険証の普及と利用促進 町内会の負担軽減

丸山 寛 (公明党)

質問 公共施設を総合的に維持管理する専門部署が必要だと思うが、本市の考えは。
答弁 施設管理は、施設の現状等を最も把握している所管部署が行うことが効率的な行政運営の観点からも望ましいと考えている。また、建築や設備関係の知識・経験が求められる場合には、関係部署と連携を図りながら適切な維持管理に努めている。

質問 学校施設における12条点検要是正項目への対応状況は。また、目視では点検できない箇所にも人間の力を借りた点検を導入する考えは。
答弁 是正項目のうち、外壁の損傷、ブロック塀不良や給食室の排水管不良、床や天井の劣化などに対しては、優先すべき箇所から必要な修繕等を実施している。また、民間の点検は、専門的な調査が必要な場合もあるため、導入の可能性について研究したい。

公共施設維持管理

荒木 征一 (たかさぎ未来)

可決した意見書

下記の意見書を国の関係機関などに提出しました。詳しい内容は市議会ホームページをご覧ください。

- 保育所・認定こども園に係る退職手当共済への公費助成に関する意見書
- 自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書
- 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書
- 厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書

